

令和3年度 各単位研究会事業計画



滋賀県公立小中学校事務研究協議会

1. 第50回滋事研研究大会

大会テーマ 「創造しよう！教育を活かす学校事務を」

サブテーマ 「わかる！できる！Let'sカリマネ！」～繋げよう 教育と子どもたちの輝く未来～

(1) 期日 令和3年11月26日(金) 午後

(2) 会場 滋賀県立男女共同参画センター

(3) 内容 全体会(湖東ブロック担当)

講師：国立大学法人 愛知教育大学 教授 風岡 治様

分科会（長浜市・彦根市・米原市）



2. 専門部活動

<研究部>

【研究テーマ】 いざ実践！「つかさどる」職としての事務職員の挑戦

～「マネジメント」「地域協働」の観点から、主体的な関わりへ～

「つかさどる」職となって事務職員の役割や取り組みはどう変わったのか研究を進め、「考える」から“実践する”事務職員へ一歩踏み出せるよう取り組みを進めています。「マネジメント」「地域協働」をテーマに、引き続き部員自身も実践を深めていきます。

研究部では、学校教育目標の達成に向け、「つかさどる」職としてどのように関わっていくことができるのかを探求し、私たちが主体的・積極的に学校運営に参画し、子ども達の成長を支えられるよう実証をしていきます。

<研修部>

『学校のために事務職員として何ができるか「課題解決」から「創造」できる事務職員を目指す～自ら学ぶ意欲を持ち、積極的に参加できる楽しく有意義な研修～』を方針として、学校事務職員の資質向上をめざした研修を実施します。また、経験年数が浅い事務職員対象の実務研修や年度当初の仕事内容等をまとめた「学校事務の仕事」を滋事研Webにて公開します。

◎研修講座(全員対象)
★YouTubeの滋事研チャンネル
テーマ『学校事務職員の学校運営への参画促進』

◎初任者研修(採用1、2年目対象)
★研修テキストを滋事研Webにて公開
。グループウェア上で意見交流を行い、継続的なフォローを行う。

<広報部>

滋事研の活動や会員による実践報告、学校事務に関する様々な情報を会員向け広報紙「さざ波」の発行を通して発信します。また、滋事研Webを定期的に更新してタイムリーな情報提供に努めていきます。

<事務局>

滋事研webに掲載している「学校事務ハンドブック」等の内容更新に取り組み、会員が利用しやすいよう充実を図っていきます。

「要覧しが」は、随時利用できるように滋事研webに掲載し、その他「会員名簿」「ダイアリー2021」の編集・データ配布を行います。



京都市立学校事務研究会

令和3年1月26日に「令和の日本型学校教育」の構築を目指して中央教育審議会より答申が取りまとめられました。小学校においては、令和4年度をめどに5・6年生の英語・算数・理科について教科担任制を導入し、授業の質を高めることに加え、教員の働き方改革につなげることや、ICTを活用して「対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化による指導の充実」を進めることが明記されています。さらに昨今のコロナ禍も影響し、教室の「3密」回避のため、小学校で1学級の上限人数を引き下げ全学年で現行の40人から35人とする考えを表明し、今年度から5年かけ段階的に移行する予定です。

また、京都市においては昨年「学校・幼稚園における働き方改革」方針が示され、学校現場の実態と意見を十分踏まえながら、徹底した働き方改革の取組が進められています。

現在、学校は新しい時代に求められる資質能力を育むため、また、複雑多様化した課題解決のために働き方改革を進め、学校組織全体の総合力の向上と、教員が子どもと向き合う時間を確保することが求められています。「つかさどる」職として学校事務職員が学校経営へ積極的に参画し、教育行政の専門職として学校経営を支えることで、業務改善が推進され、学校教育の質の向上、学校の働き方改革につながると考えます。

近年、学校を取り巻く状況は以前にも増して、多くの課題を抱えています。その課題解決のために学校はより良い校内体制を構築し、組織力を向上していく必要があります。

事務研究会では、事務職員の職務領域の拡大や学校経営への参画、学校事務の効率化を目指すプロジェクトチームを立ち上げ、新しい時代の標準的な学校事務の在り方について研究・実践を重ねています。今後も学校事務支援室をはじめとする教育委員会関係各課や校長会・教頭会等と連携を図りながら研究を進めていきます。

目指す学校事務職員像

- 学校のマネジメントを推進する学校事務職員
- 教育行政職としての専門性を活かし実践していく学校事務職員
- 幅広い学校事務の領域と知見を持つ学校事務職員

【研究大会について】

1. 大会テーマ 令和の学校づくりと調和した新しい学校事務
～学校経営参画への志向～
2. 期 日 令和3年12月17日（金） 午後2時00分開会
3. 会 場 本部（総合教育センター）・各校オンライン〈Zoom〉
4. 参 加 者 京都市立学校事務職員及び関係機関団体の職員
※他府県の方へ向けには、後日ホームページにて大会内容を配信します。
5. 概 要 (1) 会長挨拶
(2) 今年度の事務研究会の取組
(3) 「学校事務標準化プロジェクト」より
・全体報告
・チーム報告（文書事務、就学援助、校務支援員との連携、校内事務の標準化）
(4) グループ協議
(5) グループ協議全体報告、まとめ

大阪府公立学校事務研究会

今年度、大阪府公立学校事務研究会は、新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、研究大会、各種研修講座の開催を予定しています。

1. 総務部

研究会活動計画と具体運営計画
関係機関、団体との連絡調整
ホームページなどを活用した情報提供
事業推進に必要な調査統計
本会の活動の記録保存
Webページ <https://www.fujiken-osaka.net/>



2. 研究部

昨年度に引き続き、「共同実施の機能について」を研究テーマとして、アンケートの分析を行います。標準化、業務負担、人財育成、役割・権限の四観点を軸としながら、仕事における専門性の発揮意識による回答傾向の違いに着目して今後の共同実施の機能を考えます。また、大阪の共同実施の現状を通覧することでみえてきた、各自治体の人材育成の取り組みについても検討していきたいと考えています。これらの研究の中間まとめとして、第30回研究大会での報告を予定します。

3. 研修部

(1) 体系的研修制度の研究を行います。

(2) 今年度は1回、現任者研修講座を開催します。(書面開催)

アンケート内容の分析に努め、ニーズや今日的課題に即した内容となるように企画します。

新規採用学校事務職員研修講座は、昨年度は開催できなかったため、1・2年目の方を対象に、経験年数ごとに実施します。

また、2～4年目の方を対象としたステップアップ研修講座を1回開催します。(開催中止)

各研修講座共に、新型コロナウイルス感染症予防に配慮して実施します。

4. 研究大会

開催日：2021年(令和3年)11月12日(金)

会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

※新型コロナウイルスの感染状況の先行きが見通せないことから、撮影した動画を後日視聴していただく方法での開催としました。

神戸市立小学校事務研究会

神戸市では昨年度から学校で勤務する事務職員の採用区分が「教育事務職員」になり教育委員会事務局への異動が増え、現在14名の教育事務職員が教育委員会事務局へ配置されています。また、神戸市の人事給与制度改革における給料表の見直しに伴い、4級については昇格選考が実施され基準となる職務も設定されました。給与負担が政令市になってから少しずつ事務職員を取り巻く環境が変わってきているような気がします。

他には、令和3年4月1日付けで物品管理基準が見直され、備品の基準額が2万円から5万円に引き上げられたほか、従来、価格と関係なく備品に区分されていたものをなくし、価格による判断に統一されるなど学校現場にとっては分かりやすく合理的な管理基準に変わりました。

事務研究会の活動については、昨年度同様、書面決議による総会を経て、6月から令和3年度の活動を開始しています。

1. 活動重点目標

(1) プロジェクト活動の新規募集と活動への支援を行います。

(2) 職務に関する基本要綱を実践するために、研修を実施します。

(3) プロジェクトの成果を全会員が共有できるよう研究大会を開催します。

(4) 神戸市立中学校事務職員会・神戸市立特別支援学校事務職員会と共に活動できる体制づくりを目指して、引き続き各会と連携していきます。

2. 役員会

○校長会との懇談会

○教頭会との合同研修会

○政令指定都市学校事務研究協議会への参加

○小・中・特別支援学校事務連絡会の開催



3. 担当者会

- 総務 ○会員名簿作成
○視察交流受入（交流冊子「学校事務」編集含む）
- 研修 ○研修の企画・運営
- 広報 ○神小事だよりの発行
○神小事会報の発行
- 企画 ○プロジェクト活動の募集・調整

4. 研究大会実行委員会

- 研究大会の企画・運営

5. 区研修会

- 会員相互による実務研修や喫緊の課題の解決

6. その他

- 研究・研修助成



研究大会については、今年度より研究会活動に係る経費が公費化され、全事務職員が参加対象になったため「合同研修会」と名称を改めて実施します。（参加は神戸市のみとさせていただきます。）

(1) 期日 令和3年12月14日(火) 13:30~17:00

(2) 会場 神戸市総合教育センター

(3) 内容 ①プロジェクト活動報告

- ・保護者負担金を考えるプロジェクト～学校でかかるお金は当たり前？～
- ・K I I F内文書管理プロジェクト
- ・フォルダラベル作成プロジェクト

②講演会

テーマ「アフターコロナの学校運営」

講師 教育研究者・合同会社ライフ&ワーク代表 妹尾 昌俊様

奈良県公立小中学校事務研究会

1. 研究主題

「これからの学校経営を担う学校事務の探求」

第二期グランドデザイン「すまいる奈良2」を策定し基本理念のもと学校教育目標達成のため自ら考え行動する学校事務職員を目指し「ささえる」「つなぐ」「ひらく」の3つの視点から具体的な実践内容を示しました。取り組むべき課題を明確にすることで研究会と会員の連携・協働強化と「めざす事務職員像」へ近づけることを目指しています。

2. 活動の柱

(1) 支部活動の充実と交流

支部の独自性を尊重しながらお互いの交流を図り、情報の共有化に努めます。

(2) 専門部活動の充実

①研究部

第二期グランドデザインで示した学校事務職員像を目指し、会員への定着を図る研究

②広報部

「学校事務の手引き」の編纂・機関紙の発行

3. 事業内容

(1) 研究大会

第47回奈良県公立小中学校事務研究大会は、紙面開催となります。



(2) 研修会

第1回研修会 業務改善・働き方改革研修（オンライン研修）

「どんな仕事がしたいかね？～働き方を見つめなおす理由と方法～」

講師：妹尾 昌俊 氏

第2回研修会 12月7日（火）開催予定

(3) 新規採用事務職員フォローアップの実施

新規採用事務職員に対し、的確な事務処理能力を身に付け、学校経営スタッフとしての自覚と責任を早期に意識付けすることを目的としています。本年度は事業参加の可否にかかわらず、全県下で希望制の情報交換会を行い問題解決につなげたいと考えています。

(4) 県校長会・教頭会・事務研究会合同会議について

校長・教頭・事務職員の三者の連携を大切にこれからの学校に求められる課題について、互いの共通理解を深めながら、調和のとれた学校運営と校内組織の充実について話し合います。

